

住宅省エネ2025キャンペーン

給湯省エネ2025事業



新築向け

事業予算：580億円
(新築とリフォームの合計)

高効率給湯器 (エコキュート・ハイブリッド給湯器 等)
の新規導入で補助金が受けられます！

対象住宅

新築住宅

対象期間

令和6年11月22日～予算上限に達するまで(遅くとも12月31日)

対象製品

【新規取付】エコキュート・ハイブリッド給湯器・エネファーム

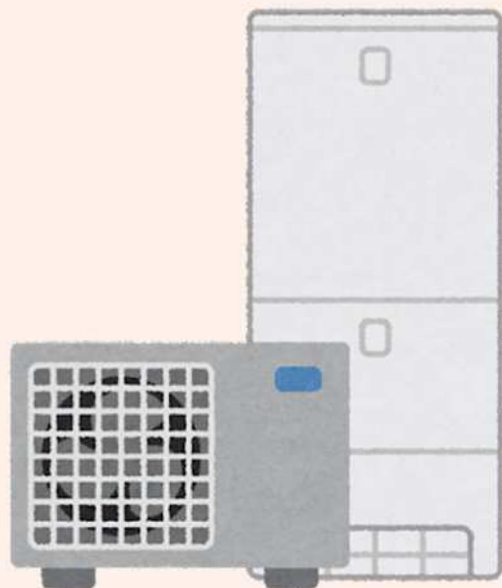
補助額最大

エコキュートの場合

13万円/台

ハイブリッド給湯器の場合

15万円/台



【対象住宅】

高効率給湯器を導入①する新築住宅②である

- ① 性能が一定の基準を満たす、本事業に登録された給湯器の新設
 ② 建築日（検査済証の発行日）から1年未満で、居住実績がないこと

【対象期間】

契約日：問わず

着工日：工事請負契約後かつ令和6年11月22日～予算上限に達するまで（遅くとも12月31日まで）

申請期間：令和7年4月14日～予算上限に達するまで（遅くとも12月31日まで）

※新築住宅は、住宅の引渡し後に申請が可能

【対象機器と補助額】

■給湯器の新規設置

機種	要件	補助額	台数上限	
			戸建	共同住宅
エコキュート	基本額	60,000 円	2台 以内	1台 以内
	A	100,000 円		
	B	120,000 円		
	A & B	130,000 円		
ハイブリッド 給湯器	基本額	80,000 円	2台 以内	1台 以内
	A or B	130,000 円		
	A & B	150,000 円		
エネファーム	基本額	160,000 円	2台 以内	1台 以内
	C	200,000 円		

★新築住宅における着工日の考え方★

〔注文住宅〕
 根切り工事または基礎杭打ち工事に着手した日のこと

〔分譲住宅〕
 住宅の引渡し（一般的には鍵の引渡し）をした日のこと

〈要件について〉

- A：インターネットに接続可能かつ昼間の余剰再エネ電気の活用ができる機種
 B：補助要件下限の機種と比べ5%以上CO₂排出量が少ない機種又はおひさまエコキュート
 C：レジリエンス機能（停電時に発電を継続できる）が強化された機種

【申請の流れと注意点】 ※交付申請までに事業者登録が完了している必要があります